

# 総合防災訓練 ～つながる！広がる！ネットワーク！～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内中学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
紀美野町立 美里中学校	美里中学校区学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 1名 1名	—
紀美野町立 下神野小学校	美里中学校区学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 1名 1名	—



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

少子高齢化に伴い、中学校へ入学する生徒が激減する事態になり、美里中学校が地域にとって必要な存在なのかどうかを問い直したいと考えた。  
学校と地域の関わりを強くしたいという思いから、「防災」という観点が最も相応しいと考えた。

### 目標や目指す姿(学校)

災害への意識が高まるだけでなく、地域の役に立ち、  
地域の一員である意識や自信を育む

### 目標や目指す姿(地域)

地域と学校が協働し、支え合う



## 美里中学校区学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- 保護者・PTA関係者
  - 教育委員
  - 自治会関係者
  - 元教育関係者
- など、計 **10** 名で構成  
年間平均 **3** 回程度開催

### 効果的な運営の工夫

学校は年度ごとに子供や教職員が替わっていくが、学校運営協議会は替わっていく相手に対して、出来る限り替わらない立ち位置で学校を応援する役割をもつようになっている。  
学校運営協議会の役割は、外部と学校を繋ぐ役割と、外部から学校を守る役割だと考えて活動を行っている。外部と繋ぐ役割では、学校にはその都度状況の報告は行おうが、連絡や調整の負担をかけないように心がけている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

学校運営協議会において、学校側は生徒減少、地域側は過疎化をそれぞれ課題としていた。そこで、学校・家庭・地域が一体となる活気あふれる取組について協議した結果、総合防災訓練の実施に至った。その後、実施に向けた役割分担や、アナウンス方法、企業等との連携について協議を行った。



学校運営協議会の様子

### 地域学校協働活動

総合防災訓練の前身である「避難誘導訓練」は地域住民、中学生、園児のみで始めたことだったが、取組の趣旨に賛同して協力してくれる関係機関や団体、企業等が年を追うごとに増えていくことになった。



総合防災訓練

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

総合防災訓練では、協力してくれる関係機関や団体、企業等、年を追うごとに増えていった。ネットワークが広がりを見せていくことで学校に負担がかからないように留意して取組を進めた。学校は、子供たちにどのように防災意識を高めさせるか、地域との連携の中で自己有用感を高めさせるかを念頭におき、訓練当日の運営は当初から中学生が中心となって行うようになっている。

## 取組

## 成果・効果

総合防災訓練や防災学習を通して、災害への意識が高まるだけでなく、子供が地域の役に立つ喜びを感じられるようになった。参加した生徒からは、「地域を守る力になりたい」との思いが強まった。」との声が聞かれた。自分が地域の一員である意識や自信が生まれ、自己有用感が高まっているよう感じる。また、年齢や立場などが違う同士が連携することで、子供が想像以上の成長を見せたことが、総合防災訓練を続けていこうと思うきっかけとなった。  
地域にとっても地域住民と子供が知り合う貴重な機会となっているため、今後も可能な限り継続していきたい。